ベリョースカ

作詞」永 六輔 たずみ たっ

あなたが教えてくれた ベリョースカ それは白樺のこと

あの日が別れの日

雪どけのせせらぎ 二人だけのベリョースカ 忘れられない言葉 ベリョースカ ベリョースカ 白樺の葉の燃える春 い幹の陰の口づけ ベリョースカ

湖にきらめく 白樺の葉は 忘れられないあなた ベリョースカ 二人だけのベリョースカ 夏の日ざしに ベリョースカ 白い幹に刻む名前も ベリョースカ

ベリョースカ 忘れられない想 人でほほ寄せる 一人だけのベリョースカ ベリョースカ して 白樺の葉の散る秋 い幹に涙のあとが ベリョースカ

ス 力

ああそべ のなれリ 日たはヨ がが白 教樺ス れえのカ のてこ 日くと

た

ベニ白雪白忘べ2 リ人いど樺れリ ョだ幹けのらョ けのの葉れし スの陰せのなス べのせ燃い力

リコが言葉している。

ベリョースカ

『詞』永 六輔 たん

ベニ白ー白忘ベ4ベニ白湖白忘べる リ人い人樺れリ ・リ人いに樺れリ ョだ幹でのらョ ョだ幹きのらョ 一けにほ葉れし 1けにら葉れし スの刻めはなス スの涙ほのなス カべむく いカ カベの寄散い刀 リ名 リあせる想 夏あ 日前 のなべ ョとる秋いへ 百たリ ーが 1も F ス ス 力 力 力